

ごみの減量

に取り組んでいる中学生の実践事例を紹介しします

【中学校理科夏休み自由研究】

「ダンボール箱堆肥で我が家の生ゴミを減らせるか」

かなやま はるか
川西中学校2年 金山 遥香さん

研究内容の紹介

ダンボール箱に基材を入れて作った容器に生ゴミを投入して堆肥化しました。生ゴミは投入量をはかり、投入したらスコップでよくかき混ぜるようにしました。また、生ゴミの分解を速くするためには温度管理が大切なため、毎日、温度を測定しました。7月から8月にかけての18日間に家族4人から出た生ゴミ4.63kgを堆肥化しました。その後3か月くらい続けたのち熟成させてできた堆肥はプランターの土に混ぜて使っています。

ダンボール箱堆肥について教えてください。

Q 基材は何を使いましたか。

ピートモスというコケの一種と、もみ殻を焼いて炭にした「もみがらくん炭」を混ぜて使いました。園芸店やホームセンターで1,000円くらいで購入しました。ピートモスの代わりに腐葉土を使ってもよいです。



準備したもの

Q 箱はどこに置いていましたか。

台所の流しのそばにダンボールを置いて、調理する時に生ゴミをその都度入れました。

Q 箱からあふれたり、臭いはしませんか。

生ゴミを入れてもかさが増えず、嫌な臭いもありません。魚のアラを入れると少しアンモニア臭があるくらいです。

Q 上手に堆肥化するコツを教えてください。

温度が低いと分解が遅くなるので、温度をあげるためによく混ぜる事です。廃油やおかずの残り汁など蛋白質を入れると効果がありました。

Q 困ったことはありませんか。

大きなものや固い野菜くずは分解が遅いので、2〜3cmに切って入れました。白いカビができましたが、これは糸状菌で善玉菌です。よくかき混ぜると消えました。

Q ダンボール箱堆肥のよい点は何ですか。

思ったより手間がかかりません。混ぜるのも1日3回くらいです。ダンボール箱は室内に置くのでマンション住まいの人でも手軽にできます。臭いも無く、生ゴミを直接投入できるので手間が省けます。環境は気になるけど何から始めたらよいのかわからない人も、このダンボール箱堆肥ならごみの減量が目に見えてわかると思います。

動機などをお聞きしました。

Q なぜこの研究をやってみようと思いましたか。

母が読んでいた雑誌に載っていた記事を読んで興味を持ちました。



生ゴミを投入したところ

Q ご家族の反応はどうでしたか。

始める前は、臭いがしたり小バエがくるのではないかと心配したけれど、母が勧めてくれました。参考にした本も母が図書館で借りてきてくれました。

Q 実際にやってみてどう思いましたか。

毎日かき混ぜて温度を測っていると、温度の上下に一喜一憂して、ペットを飼っているような気分になりました。臭いもくさくなく、やさしい土の良においがします。触ってみると温かくほっくりして柔らかいので親しみがもてるようになりました。スコップで底の方からよくかき混ぜると温度が上がって、顔を近づけると熱気が感じられました。以前はゴミを袋に入れて室内にまとめて置いていたので、ゴミの収集前には悪臭がりましたが、それがまったくなくなりゴキブリも全然出なかったのが良かったです。



金山さんにインタビュー



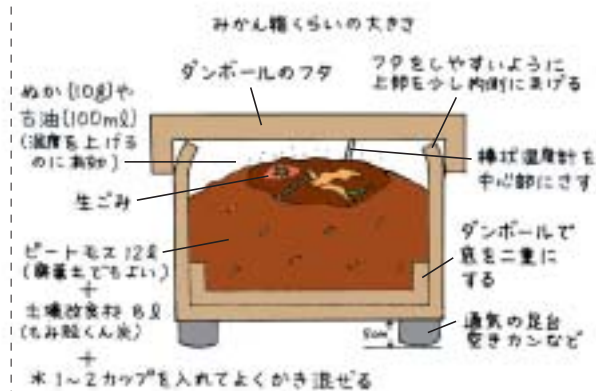
Q 困ったとき、誰かにアドバイスしてもらいましたか。まずは資料を読んで自分で考えてみました。

Q ごみカレンダーを見たことがありますか。ごみカレンダーは冷蔵庫に貼って見えています。ごみ出しは、私と姉がしています。

Q ごみを減らすためにどんな工夫をしていますか。自由研究をしているときに、スイカを食べると生ゴミの重量が増えるので、白い皮を漬物にしました。普段はジュースやペットボトルではなく、お茶を入れた水筒を持参したり、マイバッグを使っています。

Q 将来の夢を教えてください。まだ決めていませんが、将来は人の役に立つことがしたいです。

ダンボール箱堆肥のしくみ 生ゴミは微生物が分解します。



リサイクル情報誌「リ・ぼ・ん」

ベビー用品、家具など譲りたいもの、譲ってほしいものの情報がいっぱい。毎月15日ごろ発行で、市役所や公民館、市内スーパーなどに置いています。

「リ・ぼ・ん」の発行を支えてくださるボランティアの皆さん

長年にわたり、東花楽寿会の皆さんがボランティアで「リ・ぼ・ん」の製本作業をしてくださっています。

代表の西田さんにお伺いしました。

「現在、毎月2,100部発行されている「リ・ぼ・ん」冊子の製本のお手伝いをしています。5年前からほぼ毎月、3人程度の会員が来庁して作業しています。

環境のために、ものを大切にできるだけ長く使うということはとても重要なことだと思います。不用になったものをすぐにごみとして捨ててしまうのではなく、必要とする人に使ってもらうという「リ・ぼ・ん」の趣旨に賛同して、ずっとボランティアをさせていただいています。私自身も「リ・ぼ・ん」を利用して自転車を譲っていただいたこともあります。これからは「リ・ぼ・ん」を通じて、ごみや環境に対する取り組みの輪が広がっていけばよいと思っています。」



楽しく作業中

まちづくり出前講座 「ごみ学習会」 のご案内

リサイクル・アドバイザーがご要望に応じて地域に出向き、ごみ学習会を開きます。学習会では、年齢や希望にあわせて、紙芝居やスライド、実物ごみなどを使って楽しく学習することができます。自治会や子ども会、仲良しグループなどで気軽にお申し込みください。会場 申込者側で用意してください。申込方法 リサイクル推進課(電話可)へ。